

2016年3月23日
株式会社 住金システム建築
代表取締役社長 加藤真一郎

関西地区で受注躍進

関西営業チーム（佐藤チーム長）の受注が好調である。今期の通期受注高は前期10.0億円の60%増となる16.0億円に達し、過去最高となる見込みである。

関西営業チームは大阪を営業拠点とし、大阪・滋賀・京都・奈良・兵庫・和歌山県を対象に、地域密着型の営業展開を推進している。営業は4名体制である。受注が好調の背景として、当社は、基礎を含めた躯体コストを24時間で見積対応できるため、発注者側が初期段階で非常に精度の高いコストプランニングが出来ること、一般工法に対して低価格で短工期であること、元請ゼネコンの監督員不足や現場の職人不足が更に深刻化し、当社の商品のニーズが高まってきたことなどが挙げられる。

同地区の今期の成約棟数は22棟。内、用途別では、工場10棟、倉庫10棟、事務所1棟、その他1棟。商品別ではティオ19棟、ラフィット1棟、トレオ2棟。建設地別では、大阪5棟、京都3棟、滋賀5棟、奈良1棟、兵庫5棟、和歌山2棟、他地区1棟である。1棟当たりの平均床面積は1,692㎡であった。

（※2014年度通期の受注棟数は14棟、平均床面積は2,085㎡）

全国の通期受注高は190億円台に達し、5年連続で過去最高を更新する見込みである（前期185億円）。主たる販売先である「住金システム建築会」の2月末の会員数は、前期末より154社増え1,366社となった。内、同地区は17社増え、161社である。



物件名／「(株)グリーンパッケージ関東工場新築工事」 建設地／群馬県邑楽郡板倉町
用途／工場 商品／ティオ 平屋／施工床面積8,660㎡
建築主／株式会社グリーンパッケージ様 設計／要設計事務所様（大阪）
施工／株式会社熊谷組様
特記／大規模であったが規格型ティオの採用による低価格・短工期が評価された。